



小倉の棚田（上山市）

人と人の力 地域の力 東北の未来に

村山総合支庁ニュース



—Murasou News—

第186号 平成30年8月号

山形県村山総合支庁

★ 知事が山辺町で・・・交流いろいろ・・・★

よねとみ

◆6月14日、まずは、☞ 米富繊維株式会社【知事のいきいき企業訪問】

「知事と若者の地域創生ミーティング」に先立ち、吉村知事が地元企業の「米富繊維株式会社」を訪問しました。会社入口にニット製品の展示フロアが設けてあり、ぐっと目を引き付けられながら、2階の会議室へ。社歴や製品の企画等について説明いただき、工場内を見学しました。デザインから製作まで正にメイド・イン・ヤマガタ！



製品の試着

製作は機械編みだけではなく、細かい手作業もたくさん。途中、吉村知事がニットジャケットを試着し、デザイン性と着心地を体感。国内のみならず、海外でも高い評価を得ているニットに魅了されました。米富繊維株式会社では、県内外から新規雇用があり、若者の定住にも一役買っておられるとのこと。今後の一層の躍進が期待されます。



(会社概況等説明)

◆次に、☞ 輝きクラブ(芦沢公民館)【知事のほのぼの訪問】

山辺町芦沢公民館を拠点に「いきいき百歳体操」に取り組んでいる団体「輝きクラブ」を訪れました。まずは、吉村知事はじめ、遠藤町長、飛塚支庁長も一緒に、椅子に座ったままのできる「いきいき百歳体操」を体験！

体操の後は、クラブの方々お手製の笹巻や漬物をいただきながら、毎週2回の体操教室を実施しているというクラブの熱心な活動状況について対話しました。



「輝きクラブ」の皆さんと記念撮影

医者に行く回数が減ったり、どこも痛くないので杖なしでも歩けるなどの体操の効果があるほか、みんなとおしゃべりすることも健康には大切だと実感されているようでした。

ほかには、「老人クラブ」という名前を、もっと明るくて未来のある名前にしてはどうかという意見もありました。

吉村知事からは、「皆さんに心身ともに元気で健康に長生きしていただきたい。元気な山形を創っていただきたい。」とお話がありました。



みんなで「いきいき百歳体操」

◆そして、☞ 【知事と若者の地域創生ミーティング】

午後4時から、山辺町中央公民館において「知事と若者の地域創生ミーティング」が開催され、高校生、農業や事業経営者、PTA活動、各種委員会等で活躍されている方々9名と吉村知事、遠藤町長が車座になって対談しました。遠藤町長の進行のもと、スポーツが盛んな魅力あるまちづくり、子ども会等の行事の持ち方、不登校児の支援、山形に住むことの魅力、果樹の海外進出ネットワークづくり、中山間地の景観保全や農業後継、安全なまちづくり、魅力あるまちづくり、介護現場離職の問題などについて、率直に意見を交わしました。



知事から県の取組みなどを説明



参加者の皆さんと記念撮影

吉村知事からは、台湾との交流での成功例などのお話があり、交流を相互に行うことの重要性について理解を深めました。また、自分の住む地域をより良くしていくために、ネットワークをつくり、交流し支え合っていくことが大切だと吉村知事からの激励がありました。

遠藤町長からは、町の老人保健施設とベッドメーカーの取組みによる優良事例の紹介をいただき、従事者の離職率低下に繋がっているといううれしい情報もあり、笑顔あふれる大変有意義な会となりました。

(総務課 023-621-8355)

トルクメニスタン国スポーツ大臣来県！

平成30年6月27日（水）、天童市にてトルクメニスタン国スポーツ視察団の歓迎会が行われました。同国は2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における事前キャンプ地として、平成29年9月に天童市との覚書を締結しています。

事前キャンプ会場となる県総合運動公園の視察後に行われた歓迎会には、県から知事の代理で飛塚支庁長が出席しました。山本市長による歓迎の挨拶に続き、同国駐日特命全権大使、同スポーツ青年政策省大臣が挨拶を述べられました。祝宴に入り、日本舞踊が披露されると、視察団一行は熱心に見入るなど、会場全体が終始和やかな雰囲気にも包まれ、天童市と同国相互の友好関係がさらに深まる歓迎会となりました。（総務課 023-621-8104）



歓迎懇親会



日本舞踊の観賞



主要メンバーとの記念撮影

*****トルクメニスタン国ミニ知識*****

中央アジア南西部に位置する共和制国家の永世中立国。国土の85%をカラム砂漠が占めている。西側はカスピ海に面し、アフガニスタン、イラン、ウズベキスタン、カザフスタンと国境を接する。



豊富な石油や天然ガス資源を有し、その輸出と綿花生産を基礎に高い経済成長を維持している。



★国旗の意味★

緑色に三日月と星はイスラムの国であることを示し、左側の装飾文様は5つの主要な部族を、星はこの国の5つの地方を表している。

-----主なデータ-----

- 1 面積 48万8千km²(日本の1.3倍)
- 2 人口 580万人(2017国連人口基金)
- 3 首都 アシガバット
- 4 民族 トルクメン系(76.7%)
ウズベク系(9.2%)
ロシア系(6.7%)
カザフ系(2.0%)等
- 5 言語 トルクメン語(ロシア語も通用)
- 6 宗教 主としてイスラム教スンニ派
- 7 その他 1991年ソ連崩壊により独立

新品種「雪若丸」デビューに向けて 高品質米の生産管理研修会を開催

今年、本格デビューする「雪若丸」の高品質米生産とブランド米「つや姫」の更なる評価向上を目指し、『村山地域「つや姫」「雪若丸」生産管理研修会』が平成30年7月6日（金）に寒河江市文化センターと現地圃場を会場に開催されました。

研修会には、生産者等約140名が参加し、初めに、農業総合研究センターの中場部長から、全国的なブランド米戦略が激化する中、「雪若丸」は、玄米の粒が大きく、炊飯米は粘りが強くしっかりした食感であるなどの優れた特性について解説。

参加者は「雪若丸」が全国の激しい競争に勝ち抜ける素質があることを理解し、高品質で良食味な米の生産に向け決意を新たにしていました。



その後、日本穀物検定協会の最高ランクである“特A”獲得に向けた今後の栽培管理について、農業技術環境課川崎主査が助言を行うとともに、現地「雪若丸」圃場において、生育状況や品質と食味を左右する追肥等の対応について確認を行いました。「雪若丸」への参加者の関心が高く、高品質で良食味な米の生産に向けて、多くの質問が飛び交う充実した研修となりました。

(西村山農業技術普及課 0237-86-8291)



村総食堂で「山形セルリー」特別メニュー大盛況



村山総合支庁では、「山形セルリー」をはじめとする村山特産野菜の生産振興と利用拡大に取り組んでいます。「山形セルリー」が、今年4月に地理的表示保護制度（GI）に登録されたことを記念して、村山総合支庁食堂で6月11日から15日までの5日間、「山形セルリー」を使った特別メニューを提供しました。

期間中は、山形セルリー入りのだしかけそばやミックスフライ定食、山形セルリーラタトゥーユ添えハンバーグなど、様々にアレンジされた料理が手頃な価格で提供され、吉村知事をはじめ、連日多くの方に来店いただきました。

JA山形市のHP「山形セルリー おいしいレシピ」を参考に、ご家庭でも料理を楽しんでみてはいかがでしょうか。

（地域産業経済課023-621-8356、農業技術普及課023-621-8270）



オリパラ応援『ラジオ体操』いち・にっ・さん！

平成30年5月8日（火）、天童市の天童公園（舞鶴山）にてラジオ体操の動画撮影を行いました。この取組みは、2020年東京オリパラ競技大会の機運醸成の一環として「ラジオ体操プロジェクト」を展開している東京都の呼びかけにより実施したものです。人間将棋の会場でも有名な天童公園山頂広場には、村山総合支庁の職員約20名が集まり、きてけろくん、ペロリンとともに張り切って体操を行いました。



足元には人間将棋で使用される本物の将棋駒オブジェを配置し、フォーメーションを微調整しながら合計3回、一生懸命取り組みました！その模様は、東京都公式動画チャンネル「東京動画」に8月中に掲載される予定です。お楽しみに！

（リンク：https://tokyodouga.jp/radio_exercises.html）（総務課 023-621-8104）



シリーズ ～むらやまの若人（わこうど）たち～Vol.58

バレーボールを通して地域の活性化をめざす！

にっとうなおき

西川町青少年育成推進員 日塔直樹 さん

日塔さんとの出会いは3年前になります。西川町の文化祭で“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動及び「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の啓発ティッシュ配りをしたときです。町の青少年育成推進員の方々は30代。この地域に生まれ家族をもち、その繋がりを活かして青少年の健全育成を図ったり行事を盛り上げたりして町の活性化には欠かせない存在です。とりわけ、子どもからお年寄りまで誰にでも気さくに声をかける日塔さんの姿は印象的でした。

日塔さんは中学・高校・大学とバレーボール部で活躍しました。現在も「西陽倶楽部(にしびくらぶ)」（31歳～45歳）というクラブチームで西村山地区大会上位入賞をめざし、週1回の練習に励んでいます。部活を引退した中学3年生の子どもたちも練習に参加してもらうなど、西川町のバレーボールの普及・発展を通して青少年健全育成に貢献しています。また、2月開催の「雪上バレーボール大会」（西川町バレーボール協会主催）にも携わり、今年で5回を数えるそうです。この大会には県内外から200名ほどが集まり、小学生から大人までの参加者が、年代を超えて大いに盛り上がると思います。



県内外からの参加者で盛り上がる
“雪上バレーボール大会”

根っから楽しいことが好きな日塔さんのモットーは「自分が楽しまなければ、楽しくない」。最近、周りの若者がおとなしいと感じていて、年々人口は減少しているけれど、イベントがあるときは家から出てきてみんなで楽しめる、そんな西川町になればいいと考えています。将来の夢は「西川町大運動会」の開催。青少年育成推進員として体育協会や公民館等の関係機関を巻き込んでぜひ実現させたいと熱い胸の内を語ってくれました。

（子ども家庭支援課 023-627-1153）



熱い思いを語る

日塔直樹さん

インフォメーション

住宅取得支援の『新しい制度』が始まります！

県では、住宅の新築又は中古住宅の購入の際、住宅ローンの利子の一部を支援する「山形の家づくり利子補給制度」を実施していますが、本年9月から、より使いやすく見直した新しい制度を開始します。

(建築課023-621-8287)

<新しい制度のポイント>

●対象となる住宅ローンを拡大
新たに変動金利等のローンを対象とし、借入金額の上限を廃止しました。

●取扱金融機関を追加

モーゲージバンク*(知事が別に定める機関に限る)のフラット35も利用できるようになります。

※フラット35を中心とした住宅ローン専門の金融機関

●対象となる住宅の追加

以下の住宅タイプが新たに対象に加わります。

- ・寒さ対策・断熱化型(やまがた健康住宅)
- ・子育て支援型(一般)・耐震建替型

注)これまでの「省エネ機器設置型」「耐雪型」は廃止されます。

★制度の詳細は山形県住宅情報総合サイト「タテッカーナ」でご確認ください。

<http://www.pref.yamagata.jp/tatekkana/support/shien/rishihokyu-kouki.html>



♡♡ 体験型婚活イベント開催 ♡♡

むらやま広域婚活事業実行委員会では、「運命の婚活3days」と題し、秋から冬にかけて3回の「体験+自分磨き講座」の婚活イベントを実施します。

各イベントは参加者が体験を通して交流できるよう企画しました。

1回目の「芋煮会de婚活」(9/16(日))は事前の「自分磨き講座」で芋煮会のグループを編成し、芋煮作りを相談するなど一緒に活動することで、自然な流れで楽しく交流を深めることができます。

「芋煮会de 婚活」の申込期限は9/4(火)正午です。23~45歳の独身男女の皆様のご参加をお待ちしています。この他の2回のイベント(10/21、12/9)については事務局までお問い合わせください。(事務局:子ども家庭支援課 023-627-1151)



「週末は山形で農園ランチ」(夏版)実施中!

週末、気軽に、農園での収穫体験や農家レストランでのランチを楽しむことができる「週末は山形で農園ランチ」(夏版)を実施しています。

開催日は平成30年9月30日(日)までの土・日・祝日で、14農園で実施中です。

体験できる内容は、すいかやイタリア野菜、ブルーベリーなどの収穫体験や、フルーツ狩りとパフェ作り、ドラム缶を利用したピザ作りなど、盛り沢山のメニューをご用意しています。農園の詳細はQRコードからご覧ください。

週末は農園でゆっくり過ごしてみませんか。

★ご予約、お問合せ

東根市観光物産協会0237-41-1200

参加農園の詳細はこちらから



細菌性食中毒にご注意を!!

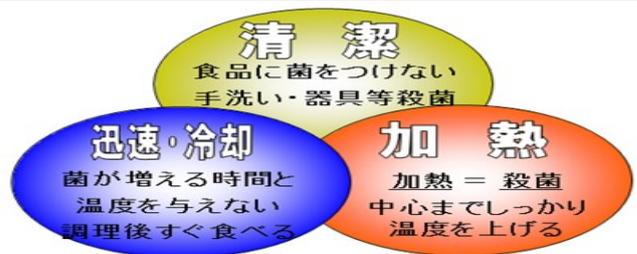
夏期は、高温・多湿になりやすく、細菌による食中毒が発生しやすい時期です。

肉や魚などの生鮮食品を購入したら、早めに冷蔵庫にしまいましょう。なお、冷蔵庫の保冷効果を高めるため、詰め込み過ぎないよう注意しましょう。加熱して調理する食品は、中心部が75℃で1分間以上を目安に加熱しましょう。また、食べる前には手をよく洗いなるべく早めに食べましょう。

「つけない(清潔)」「増やさない(迅速・冷却)」「やっつける(加熱)」の食中毒予防3原則を心がけ、食中毒予防に努めましょう。

(生活衛生課 023-627-1185)

食中毒予防三原則



あとかき

日本各地で数十年に一度の異常気象が発生し、記録的な暑さが続いています。

夏バテなどしていませんか?日頃から十分な睡眠と水分・栄養補給に努め、暑い夏を元気に乗り切りましょう。

■発行元■
村山総合支庁総務企画部
総務課企画調整担当
Tel. 023-621-8104
Fax.023-624-3056

村山総合支庁ニュースは、山形県のホームページからも ご覧いただけます。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/murayama/301001/murayamanews.html>

